

全国ソフトバレー・ファミリーフェス

全国大会誘致で競技人口拡大へ



田原で開幕…45チームが熱戦

第19回「全国ソフトバレー・ファミリーフェスティバル」が23日、田原市渥美運動公園体育館で開幕し、全国27都府県の代表計45チームが熱戦を繰り広げた。同市はソフトバレーボールが盛んで、田原市制5周年に合せ初めて全国大会を誘致した。

大会初日は6つのコートで3チーム対抗の全国大会で熱戦を繰り広げる選手たち。田原市渥美運動公園体育館で

予選リーグを行い、2日目の24日は1～3位の各順位グループで決勝リーグを戦う。田原市ソフトバレーボール協会には現在100以上のチームがあり、40～50歳代を中心に約1500人が加盟する県内最大規模の団体。年4回の市内大会のほか、バレーボール協会や中学校PTA連合会も大会を開くなど活発だ。中でも旧渥美町域は1991(平成3)年度から生涯スポーツの推

進を掲げ、体育指導員を中心に競技人口を拡大してきた。4人制でチームが組みやすく、バレーボール未経験でも親しみやすい点から、800人を超える登録者がいる。同市協会の古川美栄会長は「ネットはバドミントンと同じ規格で、どの学校体育館でも導入が簡単。手軽にプレーできることから、学校での授業やPTAのレクリエーションとして活用が進んだ」と普及拡大の背景について語る。

全国大会を地元で誘致したことで、協会はさらにソフトバレーボールの魅力を広め、競技人口の拡大への好機としたい考えだ。(加藤広宣)



発行所：豊橋市新栄町鳥居62番地
〒441-8666 南局私書箱8号
東愛知新聞社
TEL 0532-32-3111代
FAX 0532-32-3737



熱戦が展開された試合 (田原市渥美運動公園体育館で)

ソフトバレー・ファミリーフェス 全国から45チーム330人 田原

第19回全国ソフトバレー・ファミリーフェスティバルが23日、田原市渥美運動公園体育館で始まった。北は山形県、南は熊本県まで全国から45チーム330人が出場。表彰台を目指して熱戦を繰り広げた。24日は各組で決まった。チームは30歳以上の男女4人と小学生4人の8人で構成。試合は4人制で行われた。最初に45チームを3チームずつの15組に分け各組ごとの予選リーグを戦った。24日は各組で決

東日新聞
TONICHI NEWS

地域を笑顔に
発行所/東海日日新聞社 TEL0532-53-2800
〒440-0874 FAX0532-53-7222
愛知県豊橋市東松山町90番地 http://www.tonichi.net

つた順位別の15チームを、それぞれ3チームずつ5組に分け、各組ごとの決勝リーグ戦を行う。1位グループの1、2、3位と、2、3位グループの1位が表彰される。